

事務事業名	小中学校教育用パソコン管理事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
政策名	〈Ⅳ〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉	所属G	義務教育グループ	課長名	伊藤 慶
施策名	〈26〉学校教育の充実	担当者名	堀江 亮次	電話番号	0854-40-1072
目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。	(内線)	2281
基本事業	〈076〉すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進	予算科目	会計 款 大事業 大事業 小(中)学校教育振興総務管理事業	0:1 5:0 0:1	事業名 中事業 小(中)学校教育振興総務管理事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習意欲が高まる。	項目 中事業 小(中)学校教育振興総務管理事業	1:0 0:1

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童生徒・教職員	①情報活用能力の向上 ②確かな学力の育成 ③教職員のICT指導力の向上
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	市内小中学校の教育用ネットワーク機器整備・保守運用管理・校務用パソコンの整備
④ 主な活動 R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①教育用ネットワーク機器の保守管理・契約 ②市内小中学校 パソコン保守運用管理・修理 ③統合型校務支援システム本稼働 ④ソフトウェア契約 ⑤小学校4校 校務用パソコンの更新	教育用ネットワーク機器のサーバの集約・更新を実施し、セキュリティを確保しながら、各校でも運用がしやすい環境を整備。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 校内LAN整備率	%	100.0	100.0	100.0	100.0
イ 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	人	1.0	1.0	1.0	1.0
ウ 校務用コンピュータ整備率	%	100.0	100.0	100.0	100.0
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
需要費 2,744 千円 役務費 1,026千円 委託料 6,202千円 使用料及び賃借料 123,034千円 備品購入費 585千円 計 133,591千円	財源内訳	国庫支出金	千円		2,649	2,242
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	136,099	133,804	130,942
	事業費計	千円	136,099	133,804	133,591	134,403

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	市内小中学校のICT環境の整備 ①教育用ネットワークの環境の充実(セキュリティ確保・保守管理等リモートアクセス環境整備・教職員のテレワーク環境整備) ②1人1台タブレット環境に対応した環境の整備 ③統合型校務支援システムの整備により、教員の負担軽減 などが図られた。
② 事業実施するうえでの課題	情報セキュリティの高度化・複雑化など求められ水準の高まりに的確に対応していくためには、環境整備にかかる予算はもとより、人的体制も不足している状況にある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	①ランニングコスト削減を図るため、オンプレ運用からセキュアなクラウド運用の検討 ②校務・学習系に分離した環境の再統合を含めた、次期更新への検討 ③教職員への研修(専任指導主事等の配置) ④教職員の障害対応のためヘルプデスクの開設